腰椎前方・後方固定術を受けられる患者様へ(前日入院)

腰椎前方・後方固定術/2 週間パス【11003-00】

患者氏	:名:	病棟 主治医:	受け持ち	5看護師:	No1/2	
日付	/	/		/		
入院日数		2 日目		3 日目		
イベント	入院・手術前日	手術当	手術当日		手術後 1 日目	
目標 毎日看護師と 評価します	口手術や麻酔に対する不安を表出できる	口創痛がコントロールでき 口しびれの増強がない(手		ロベッド上で座ることができる 口装具の着脱ができる(手術後 口傷の赤みや腫れ、熱感がない	5~9日目)	
内服 注射	口手術日の内服薬の服用は麻酔科医指示となります。	□持続点滴:手術前後で行 □抗生剤点滴:手術中・手		口抗生剤の点滴があります		
検査		□手術:レントゲン検査と	采血があります (1)			
治療処置	ロリハビリ室でのリハビリがあります		475	口手術翌日から病棟でリハビリ 口車椅子か歩行器で移動できる リ室で行います		
	□入院日に食事・飲水の中止時間の説明が麻酔科医師 からあります	□朝食・昼食:禁止 □手術後腹鳴があれば飲水。	食事を開始します	口特に制限はありません (治療食の方以外)		
清潔	口手術前日は必ず入浴して下さい			□尿を排泄する管が入っている 予防のため洗浄します。汗を 際は温タオルで体を拭きます		
排泄		 □手術後は尿を排泄する管: 	が入ってきます	口車椅子や歩行器で移動できる 尿を排泄する管を抜きます	ようになったら、	
安静活動	口制限はありません	口寝返りは腰をひねらないように行います ロベッドから起き上がる際は、コルセットを装着します 口痛みに応じて車椅子か歩行器歩行できます口痛みが強くなければ自力で歩行できます				
説明 指導	□入院オリエンテーション(入院日) ・コルセットの説明 ・主治医・麻酔科・手術室看護師・病棟看護師から手術の説 明	口安静度についての注意点	や説明があります			

腰椎前方・後方固定術を受けられる患者様へ(前日入院)

腰椎前方・後方固定術/2 週間パス【11003-00】

患者氏	名: 様 入院病	棟:	病棟	主治医:	受け持ち看護	師: No2/2
日付	/ ~ /		/ ~ /	/ -	~ /	/ ~ /
入院日数	4日目~6日目		7日目~9日目	10 日目~	~12 日目	13 日目~19 日目
イベント	手術後 2~4 日目		手術後 5~7 日目	手術後8年	~10 日目	手術後 11~17 日目
目標 毎日看護師と 評価します	口車椅子に乗車することができる(手術後2~口排液が減少しドレーンが抜去できる(手術後2目) 口歩行器を使用し安全に歩行できる(手術後3目)	2~7日		□退院後の日常生活の (手術後 10~17 日 □安全に歩行ができる (手術後 10~17 日	目) る	□痛みのコントロールができる (手術後 11~1 7日目) □今後の方向性を看護師と一緒に確認 できる (手術後 12 日目~14 日目)
内服 注射						
検査			手術後 7 日目:レントン検査と採血があります			□手術後 14 日目:レントゲン検査と採血があります
治療	ロドレーン(傷の場所に入っている管) は量によって抜けます ロドレーンを抜いた翌日に消毒します ロ以後月・水・金とシャワー前後に消毒します	版去		□手術後10日目頃	に抜糸をします	
食事 飲水						
清潔	ロドレーンが抜けた翌日から、傷を覆ってシャ 入れます。(ベッド浴 • 椅子浴)	ワーに // /		□抜糸後は傷を覆わ す	ずシャワーに入れま	
排泄		ク				退院基準:
安静 活動						□痛みをコントロールできる □歩いて退院することができる
説明 指導						233.12003 0003